

事業年度	毎年2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会	毎年4月下旬
基準日	毎年1月31日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告 ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL https://www.ishiihyoki.co.jp/
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)

【ご注意】

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せ下さい。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の全国本支店でお支払いいたします。



住 所 広島県福山市神辺町旭丘5番地
電 話 番 号 084-960-1247 (代表)
F A X 番 号 084-960-1010
ホームページ <https://www.ishiihyoki.co.jp/>



第48期 報告書

2020年2月1日 ▶ 2021年1月31日

ORIGINALITY,

PASSION,

CHALLENGE.

さらなる事業の安定化と、特定事業領域への依存からの転換に取り組んでいます。



2021年4月
代表取締役会長兼社長 **石井 峯夫**

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。当連結会計年度（2020年2月1日から2021年1月31日まで）の事業をご報告するにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け2020年4月に緊急事態宣言が発出されるなど、経済活動が制限され景気は急速に後退しました。

緊急事態宣言解除後は、段階的な経済活動再開とともに一部の業種では回復の兆しが見られますが本格的な回復には及ばず、さらには感染の再拡大に伴い2021年1月に緊急事態宣言が再発出されるなど、新型コロナウイルス感染症の終息時期が未だ見通せない中、さらなる下振れリスクの高まりに十分注意する必要があります。

このような環境下において、当社グループは新型コロナウイルス感染症の影響により国内外の移動制限に伴う営業活動の停滞など、事業活動に影響を受けましたが、中国関連事業では現地経済活動の再開により一部で回復が見られました。

今後につきましても、自動車向け印刷製品や液晶関連分野において、さらなる事業の安定化と特定事業領域への依存からの転換に取り組んでいます。

株主の皆様におかれましては、より一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

「独創的」な製品作りに情熱を持って「挑戦」し、会社と社員の永遠の幸福を目指します。

- 1 世界一の技術集団として 永遠の成長を目指します
- 2 「人」を大切に、活躍の場を提供します
- 3 地域に根ざした企業活動を通じ、経済社会に貢献します

経営哲学

倫理観の共有

企業文化・風土

コンプライアンス
内部統制・コーポレートガバナンス

企業価値の向上

ビジョン

高収益の技術集団

会社方針

顧客を継続的に創造し、社員に夢を持たせる
安定と成長、キャッシュ・フロー経営の強化

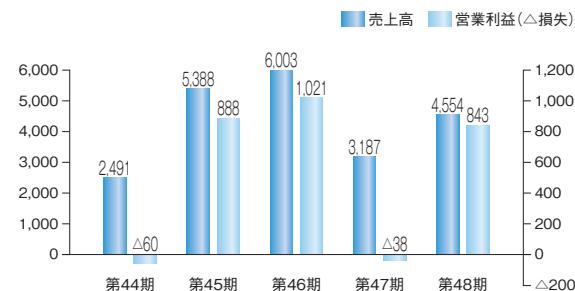
- ① 製造業の原点回帰（実行力）
- ② 適時、適材、適所
- ③ ボーダレス経営
- ④ 事業の選択と集中

電子機器部品製造装置

売上高
45億54百万円 前期比 **42.9%** ↑

営業利益
8億43百万円 前期比 **—** ↑

売上高／営業利益（△損失）（単位：百万円）



プリント基板分野

●新型コロナウイルス感染症の影響により、営業活動縮小を余儀なくされる状況になりましたが、次世代通信規格「5G」の市場拡大に伴い同分野での設備投資が増加したことなどから、前年と比較し売上高は増加いたしました。

液晶関連分野

●中国顧客の操業再開を受けてインクジェットコーターを計画通り売上計上したことや、消耗品の販売が増加したことなどから、前年と比較し売上高は増加いたしました。

その結果、売上高は45億54百万円（前連結会計年度比42.9%増）、営業利益は8億43百万円（前連結会計年度は38百万円の営業損失）となりました。



HS研磨機

インクジェットコーター



FBC研磨機

アクアクリーンシステム



水平搬送UP/DOWN方式 電気銅メッキ装置

[主要製品]

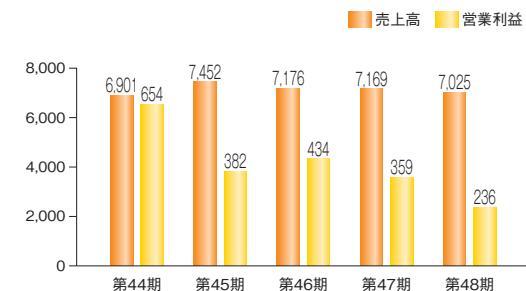
- HS研磨機 ● FBC研磨機 ● インクジェットコーター
- 超薄基板用研磨機 ● 超音波洗浄機 ● アクアクリーンシステム
- セラミックジェットスクラブ機 ● 超薄基板用水洗乾燥機
- 水平搬送UP/DOWN方式 電気銅メッキ装置

ディスプレイおよび電子部品

売上高
70億25百万円 前期比 **2.0%** ↓

営業利益
2億36百万円 前期比 **34.1%** ↓

売上高／営業利益（単位：百万円）



アミューズメント向け部品分野

●売上高は、当社得意先の生産増加の影響により、前年と比較して増加いたしました。

自動車向け印刷製品

●新規顧客向けの生産がスタートしたことにより前年と比較して売上高が増加いたしました。

工作機械および産業用機械分野

●新型コロナウイルス感染症の影響により顧客の需要が減少したことに加え、営業活動も制約を受け前年と比較し売上高が減少いたしました。

その他

●JPN, INC.は、フィリピン国内の新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い操業制限など事業活動に大きな影響を受け、前年に比べ減収減益となりました。一方で上海賽路客電子有限公司は、中国経済の再開に伴う需要の増加から売上高が前年を上回ったことや、新型コロナウイルス感染症に対する助成金を受給したことなどから前年に比べ増収増益となりました。

その結果、売上高は70億25百万円（前連結会計年度比2.0%減）、営業利益は2億36百万円（前連結会計年度比34.1%減）となりました。

○GOP液晶システム



○メンブレンスイッチパネル・ユニット製品



○シルク印刷・ラベル印刷・アルマイト銘板

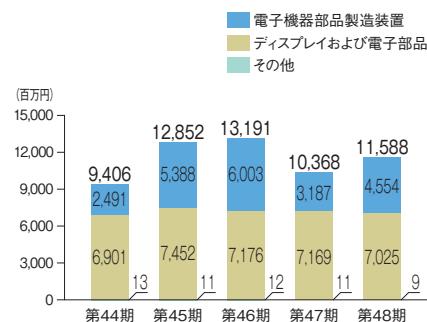


○フィルム成形



	第44期	第45期	第46期	第47期	第48期
売上高 (千円)	9,406,534	12,852,900	13,191,893	10,368,079	11,588,490
営業利益 (千円)	593,642	1,271,479	1,456,562	321,169	1,078,945
経常利益 (千円)	416,910	1,279,684	1,464,555	212,467	1,069,725
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	483,124	1,216,803	1,056,155	105,274	726,854
純資産額 (千円)	1,837,639	2,115,162	3,058,044	3,056,551	3,672,922
総資産額 (千円)	12,273,664	11,806,803	11,902,907	12,257,259	12,388,300
1株当たり純資産額 (円)	106.05	251.84	366.22	374.89	450.50
1株当たり当期純利益 (円)	57.91	149.24	129.54	12.91	89.15
総資産当期純利益率 (ROA) (%)	3.94	10.31	8.87	0.86	5.87

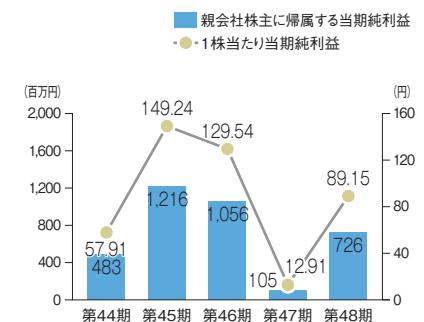
事業の種類別売上高



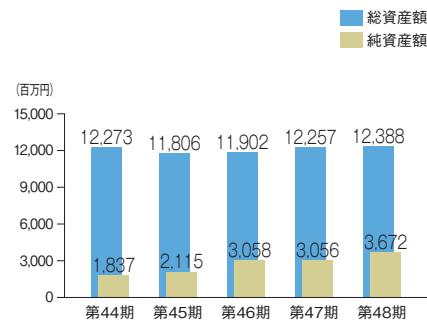
経常利益/売上高経常利益率



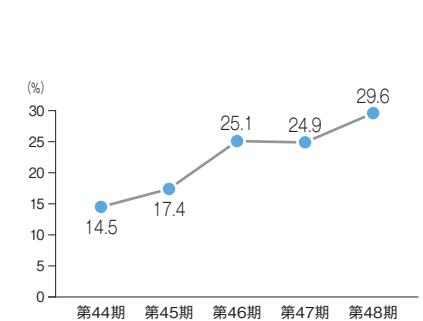
親会社株主に帰属する当期純利益/1株当たり当期純利益



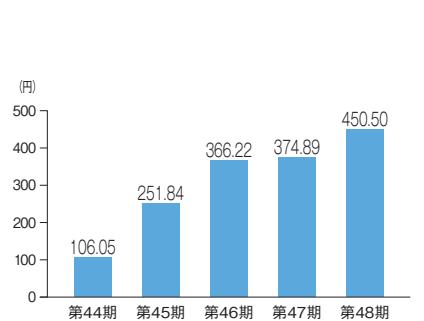
総資産額/純資産額



自己資本比率



1株当たり純資産額



トピックス TOPICS

広島県へ「フェイスシールド」を寄贈

当社は、医療従事者の新型コロナウイルスへの感染対策のため、マツダ株式会社、株式会社ジェイ・エム・エスと連携して製造した個人防護具「フェイスシールド」を、広島県に寄贈いたしました。

寄贈式

2020年5月26日に、マツダ株式会社、株式会社石井表記、株式会社ジェイ・エム・エスから、広島県商工労働局に対して、寄贈が行われました。



寄贈品

新型コロナウイルス感染予防個人防護具
フェイスシールド 3,000個

製品の特長

医療現場や自動車の製造現場などさまざまな業務の従事者が、長時間負担なく着用できることを前提に開発されており、自動車のバンパーに使用するポリプロピレン (PP材) を使用し、耐久性とフィット感をもたせています。また、後頭部に位置する部分をゴム等で固定できる仕様を採用し、利用者の好みの装着感に微調整が可能です。

さらに、当社が生産するシールドフィルムは、細かな作業時にもストレスなく利用できるような、高い透明度でクリアな視界を確保しています。

■ 広島県ホームページ <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/229/kizo-mazda-ishiihyoki-jms.html>

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当期末 (2021年1月31日現在)	前期末 (2020年1月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	7,045,151	6,936,843
固定資産	5,343,148	5,320,416
資産合計	12,388,300	12,257,259
(負債の部)		
流動負債	5,007,039	5,598,689
固定負債	3,708,337	3,602,018
負債合計	8,715,377	9,200,707
(純資産の部)		
株主資本	4,063,281	3,418,077
資本金	300,000	300,000
資本剰余金	1,107,799	1,107,799
利益剰余金	2,675,602	2,030,281
自己株式	△ 20,120	△ 20,002
その他の包括利益累計額	△ 390,359	△ 361,526
① 純資産合計	3,672,922	3,056,551
負債純資産合計	12,388,300	12,257,259

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

① 純資産
当社において剰余金の配当を81百万円実施したものの親会社株主に帰属する当期純利益を7億26百万円計上し、利益剰余金が6億45百万円増加したことなどから前連結会計年度末に比べ6億16百万円増加しました。この結果自己資本比率は4.7ポイント増加し29.6%になりました。

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当期 (2020年2月1日から 2021年1月31日まで)	前期 (2019年2月1日から 2020年1月31日まで)
② 売上高	11,588,490	10,368,079
売上原価	8,481,835	7,915,714
売上総利益	3,106,655	2,452,364
販売費及び一般管理費	2,027,709	2,131,195
② 営業利益	1,078,945	321,169
営業外収益	130,127	61,382
営業外費用	139,347	170,084
② 経常利益	1,069,725	212,467
特別利益	4,881	36,561
特別損失	48,532	29,020
税金等調整前当期純利益	1,026,074	220,008
法人税、住民税及び事業税	79,061	147,998
法人税等調整額	220,158	△ 37,107
② 当期純利益	726,854	109,117
非支配株主に帰属する当期純利益	—	3,842
親会社株主に帰属する当期純利益	726,854	105,274

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

② 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益
連結子会社のJPN, INC.は新型コロナウイルス感染症の影響から操業制限を受けるなどして減収減益となりましたが、当社の業績が堅調に推移し、連結子会社の上海賽路客電子有限公司も中国経済の再開に伴う需要増加から売上高が前年を上回り、加えて新型コロナウイルス感染症に関する助成金を受給したことなどから前連結会計年度と比べ増収増益となりました。

個別貸借対照表

(単位：千円)

科目	当期末 (2021年1月31日現在)	前期末 (2020年1月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	4,138,484	4,229,971
固定資産	5,262,310	5,558,098
資産合計	9,400,794	9,788,069
(負債の部)		
流動負債	3,912,562	4,416,114
固定負債	3,301,461	3,521,450
負債合計	7,214,023	7,937,564
(純資産の部)		
株主資本	2,196,744	1,854,856
資本金	300,000	300,000
資本剰余金	1,068,072	1,068,072
利益剰余金	848,792	506,786
自己株式	△ 20,120	△ 20,002
評価・換算差額等	△ 9,973	△ 4,351
その他有価証券評価差額金	△ 9,973	△ 4,351
③ 純資産合計	2,186,771	1,850,505
負債純資産合計	9,400,794	9,788,069

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

③ 純資産
剰余金の配当を81百万円実施したものの当期純利益を4億23百万円計上し、利益剰余金が3億42百万円増加したことなどから、前事業年度末に比べ3億36百万円増加しました。この結果自己資本比率は4.4ポイント増加し23.3%になりました。

個別損益計算書

(単位：千円)

科目	当期 (2020年2月1日から 2021年1月31日まで)	前期 (2019年2月1日から 2020年1月31日まで)
④ 売上高	7,033,353	5,880,662
売上原価	4,924,685	4,512,828
売上総利益	2,108,668	1,367,834
④ 販売費及び一般管理費	1,532,662	1,613,300
④ 営業利益又は営業損失(△)	576,005	△ 245,466
営業外収益	249,891	108,698
営業外費用	95,368	163,279
④ 経常利益又は経常損失(△)	730,529	△ 300,047
特別利益	3,358	32,357
特別損失	84,410	30,116
税引前当期純利益又は 税引前当期純損失(△)	649,477	△ 297,806
法人税、住民税及び事業税	56,559	53,860
法人税等調整額	169,379	△ 101,160
④ 当期純利益又は当期純損失(△)	423,538	△ 250,505

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

④ 売上高、販売費及び一般管理費、営業利益、経常利益、当期純利益
工作機械、産業用機械向け操作パネルなど一部事業で新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けましたが、プリント基板分野では次世代通信規格「5G」の市場拡大に伴い同分野での設備投資が増加し、液晶関連分野におきましても、中国顧客の操業再開を受けてインクジェットコーターを計画どおり売上計上したことなどから、前事業年度と比較し売上高は増加し、一般管理費においては、新型コロナウイルス感染症の拡大が影響し、客先への訪問自粛など営業関連費用が減少した結果、前事業年度と比べ増収増益となりました。

商号	株式会社石井表記
設立	1973年4月
資本金	300,000,000円
本社	広島県福山市神辺町旭丘5番地
営業所	東京支店（東京都板橋区） 千葉営業所（千葉県市川市） 横浜営業所（神奈川県川崎市） 名古屋営業所（愛知県一宮市） 大阪営業所（大阪府吹田市） 滋賀営業所（滋賀県草津市） 明石営業所（兵庫県明石市） 広島営業所（広島県安芸郡）
従業員数	328名（連結 655名）
関係会社	国内 株式会社CAP 海外 JPN, INC.（フィリピン） ISHII HYOKI (SUZHOU) CO.,LTD.（中国） 上海賽路客電子有限公司（中国）



ホームページのお知らせ

<https://www.ishiihyoki.co.jp/>

ホームページにアクセスしていただきますと、
当社の各種情報をご覧いただけます。

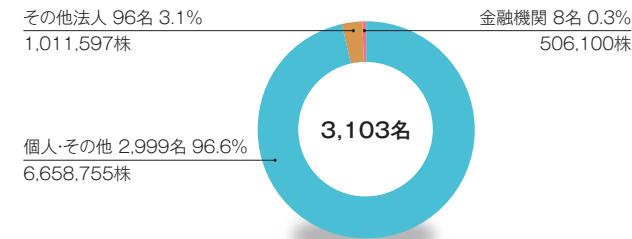
(2021年1月31日現在)

取締役および監査役（2021年4月23日現在）

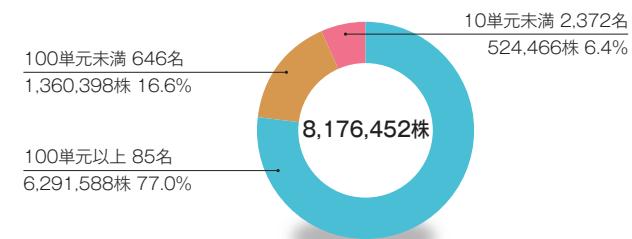
代表取締役会長兼社長	石井 峯夫
取締役副社長	渡邊 伸樹
専務取締役	平坂 晋二
常務取締役	山本 晋宏
取締役	松井 忠則
取締役（社外）	石井 裕工
取締役（社外）	本田 祐二
常勤監査役	貝原 睦規
監査役（社外）	森末 辰彦
監査役（社外）	松岡 清史

(2021年1月31日現在)

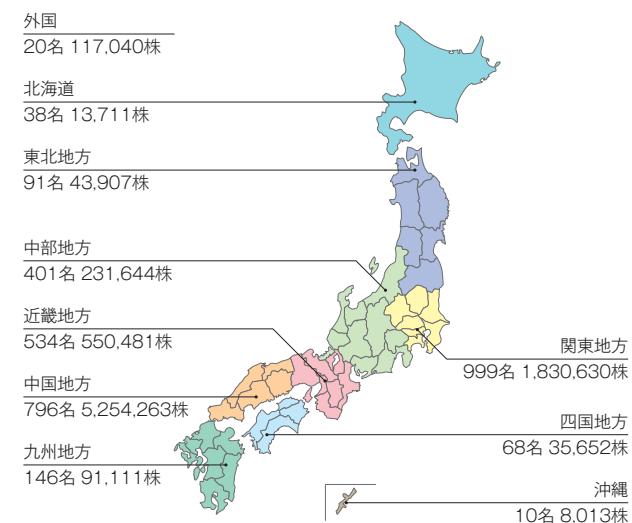
所有者別株主分布状況



所有株式数別株主分布状況



地域別株式分布状況



発行可能株式総数	31,644,909株
発行済株式総数	8,176,452株
株主数	3,103名

大株主（上位10名）

株主名	所有株式数	持株比率
石井 峯夫	1,908,446株	23.41%
石井 敏博	615,000株	7.54%
イシイヒョーキ従業員持株会	552,566株	6.77%
河原 栄	186,400株	2.29%
石井 幸蔵	167,060株	2.05%
石井 博幸	161,380株	1.98%
株式会社三菱UFJ銀行	144,000株	1.77%
石井 朋子	138,240株	1.70%
青山 理	124,200株	1.52%
大和証券株式会社	111,600株	1.37%

(注) 持株比率は自己株式（23,421株）を控除して計算しております。